

各関係機関長様

熊本県病虫害防除所長

水稻海外飛来性害虫の飛来状況(技術情報第3号)について(送付)

このことについて、水稻飛来性害虫(ウンカ類、コブノメイガ)の飛来状況を下記のとおりまとめましたので、業務の参考に御活用ください。

記

トビイロウンカの初飛来が7月10日、コブノメイガの初飛来が6月29日に確認されました。

現在までのトビイロウンカの飛来量は平年より少ないものの、前年同様セジロウンカの飛来量が少なく本種の増殖が高まる恐れがあるので、ほ場での発生状況には注意してください。

1 飛来および発生状況

(1) 飛来状況

- ① 合志市に設置した予察灯で、7月10日にトビイロウンカが初めて誘殺された。セジロウンカは5月16日に初めて誘殺を確認し、その後も断続的に誘殺された。コブノメイガは合志市に設置したフェロモントラップで6月29日に初めて誘殺され、その後も断続的に誘殺された(表1)。
- ② 6月第3半旬から7月第2半旬の1カ月における予察灯での累積誘殺数はトビイロウンカが2頭(平年70.3頭、前年630頭)で平年比少、セジロウンカは142頭(平年252.6頭、前年1029頭)で平年比やや少、コブノメイガのフェロモントラップでの累積誘殺数は3頭(平年91.5頭、前年567頭)で平年比少であった。

(2) 県内の発生状況

- ① 6月上中旬に実施した阿蘇、上益城、球磨、天草地域における巡回調査では(早期4月移植、早植え5月移植、地点数16)、トビイロウンカ(成虫及び幼虫)は確認されず(1株当たり頭数:平年0.0頭、前年0.0頭)平年並、セジロウンカは0.3頭/株(平年0.1頭、前年0.3頭)で平年並であった。また、コブノメイガも確認されず(1株当たり葉巻数:平年0.0葉、前年0.0葉)平年並であった。
- ② 合志市に設置した無防除水田(5月14日移植)では、6月1日から7月1日までの間トビイロウンカ(成虫及び幼虫)は確認されておらず(1株当たり累積頭数:前年0.3頭)前年比やや少、セジロウンカは0.8頭/株(前年30.8頭)で前年比少であった。

2 防除対策について

- (1) トビイロウンカの防除適期を、初飛来を確認した7月10日を起点に算出した(表2)。
- (2) トビイロウンカの飛来量及び増殖量は地域やほ場、使用した箱施薬剤の種類で異なる。ほ場を観察し、要防除水準(表3)を超える場合は防除を行う。
- (3) コブノメイガの適期防除を飛来状況から、初飛来を確認した6月29日を起点に算出した(表4)。コブノメイガの防除適期は粒剤が発蛾最盛期、粉剤、液剤は若齢幼虫期(発蛾最盛期の1週間後)である。水田における発生状況を確認し、要防除水準(第1世代幼虫による被害株率が20%以上)を超える場合は防除を行う。
- (4) 今後の飛来状況や最新の防除適期について、防除所のホームページで確認し、適期防除に努める。

※今後の飛来状況、防除適期や対策については防除所のホームページ(<http://www.jppn.ne.jp/kumamoto/>)に掲載します。

表1 ネットトラップ・予察灯、フェロモントラップにおける水稻海外飛来性害虫の誘殺状況

調査日	予察灯(60W 白熱灯)		ネットトラップ		コートトラップ(フェロモン)
	合志市		合志市		合志市
	セジロウンカ	トビイロウンカ	セジロウンカ	トビイロウンカ	コブノメイガ
6/1	0	0	0	0	0
6/2	0	0	0	0	0
6/3	0	0	0	0	0
6/4	0	0	1	0	0
6/5	0	0			
6/6	0	0	0	0	0
6/7	1	0			
6/8	0	0	0	0	0
6/9	2	0	0	0	0
6/10	1	0	0	0	0
6/11	0	0	0	0	0
6/12	0	0			
6/13	0	0	0	0	0
6/14	0	0			
6/15	0	0	0	0	0
6/16	0	0			
6/17	0	0	0	0	0
6/18	0	0			
6/19	1	0	0	0	0
6/20	0	0			
6/21	0	0			
6/22	0	0	0	0	0
6/23	0	0	0	0	0
6/24	0	0	0	0	0
6/25	1	0	0	0	0
6/26	0	0			
6/27	0	0	0	0	0
6/28	0	0			
6/29	0	0	0	0	1
6/30	0	0	0	0	0
7/1	0	0	0	0	1
7/2	0	0	0	0	0
7/3	1	0			
7/4	17	0	1	0	1
7/5	2	0			
7/6	0	0	0	0	0
7/7	0	0	0	0	0
7/8	0	0	1	0	0
7/9	13	0	8	0	
7/10	107	2			6
7/11	64	0	3	0	
7/12	150	0			
合計	360	2	14	0	9

表2 予想されるトビイロウンカの防除適期
(7月10日飛来)

地点	防除適期 (第一世代幼虫)	防除適期 (第二世代幼虫)
熊本	7月27～8月7日	8月24～9月4日
三角	7月28～8月8日	8月26日～9月7日
岱明	7月26日～8月7日	8月24日～9月4日
鹿北	7月29日～8月10日	8月30日～9月12日
菊池	7月28日～8月8日	8月25日～9月7日
阿蘇乙姫	8月1日～14日	9月7日～24日
甲佐	7月28日～8月8日	8月26日～9月7日
八代	7月28日～8月8日	8月26日～9月7日
水俣	7月28日～8月8日	8月26日～9月7日
人吉	7月30日～8月10日	8月29日～9月10日
本渡	7月28日～8月8日	8月26日～9月7日

注1) 7月10日を起点として、各地点のアメダスデータ平均気温(7月12日までは今年のデータ、7月13日以降は平年値)をもとに、有効積算で今後の発育ステージを予測した。

注2) 有効積算は下記表の条件で行った。

ステージ	有効積算温度(日度)	発育0点(°C)
成虫	125	12
卵	135	11.4
幼虫	250	6.5

表3 トビイロウンカの発生時期別要防除水準

発生時期	要防除水準(成幼虫)
7月中旬～8月上旬	20頭/100株
8月中旬～8月下旬	100頭/100株

表4 予想されるコブノメイガの発蛾最盛期^{注)}
(6月29日飛来)

地点	第一世代発蛾最盛期 (第一世代成虫期)
熊本	8月3～6日
三角	8月4～7日
岱明	8月3～6日
鹿北	8月5～8日
菊池	8月4～7日
阿蘇乙姫	8月13日～17日
甲佐	8月4～7日
八代	8月3～6日
水俣	8月4～8日
人吉	8月4～7日
本渡	8月4～7日

注1) 6月29日を起点として、各地点のアメダスデータ平均気温(7月12日までは今年のデータ、7月13日以降は平年値)をもとに、有効積算で今後の発育ステージを予測した。

注2) 有効積算は下記表の条件で行った。

ステージ	有効積算温度(日度)	発育0点(°C)
成虫	50	13
卵	50	13
幼虫	250	12.5
さなぎ	90	14.2

本田防除剤の散布適期は、粒剤が発蛾最盛期、粉剤・液剤は若齢幼虫期(発蛾最盛期1週間後)である。

熊本県病虫害防除所

(熊本県農業研究センター 生産環境研究所
予察指導室)

担当: 丹・作本 TEL 096-248-6490